

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2014年9月1日 132号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



エスペランサ小中学校の校庭で統一武道の基礎を教えるグスタボ・ジュリアーノ氏（右）



校長先生（中央）が熱心に通訳してくださる。

育、そして屋外で四十分ほどの実技をします。辺境の地であるゆえに、こういう武道の先生を迎えたことのないこの地域の生徒たちは、今大喜びで練習に励んでいます。この生徒たちが武道を通して立派な人に育ってくれることを祈るものです。

（佐野記）

レダ近隣の中・高校で統一武道のクラスが好評！

統一武道の入門クラスが、アルト・パラグアイ州バイア・ネグラ市の高校、およびインディヘナ（先住民）の村のディアナとエスペランサの各中学校で行われています。

武道歴三十年のアルゼンチン人師範グスタボ・ジュリアーノ氏が毎月二回、それぞれの学校で教えることになりました。目的は武道を通して行う青年たちの精神修養です。

ともすれば、若者たちを肉体的な享楽やアルコール、麻薬などに走らせる、誘惑の絶えないこの社会にあって、何とかして健全な青年に育てたいというのが私たちの願いです。この申し出に学校の先生たちも直ちに共鳴し、学校の正規のクラスの授業に組み入れてくれました。まず、教室や廊下で二十分のモラル、人格教

レダ農場のタロイモ水田栽培



タロイモ栽培

タロイモは世界各地の温帯から熱帯まで栽培されている根菜で、日本のサトイモもその一つです。レダ基地では、食料および飼料として、中田所長を先頭にタロイモ栽培を研究してきましたが、魚の養殖と養豚の規模拡大に伴い、本格栽培に着手しました。豊富な栄養素、美味、鳥や虫による被害が少ないなどの利点があり、現地スタッフたちはより高い生産性と収穫量を目指し、日々積極的に取り組んでいます。タロイモ生産が普及すれば、直接にも間接にも地元民の生活向上に大きく寄与することでしょう。

★栄養食

タロイモは優れて栄養価の高い食品で、妊婦や幼児の栄養補給食としても利用されています。また粉末にして長期保存することも可能です。今後、近隣のインディヘナの村々に普及することが可能になれば、彼らにとって新たな食料源として、画期的な価値をもつ可能性があります。現在レダ基地では、天ぷら、田楽、パン、ケーキなどに利用を始めています。インディヘナの労働者たちも、「ムイリコ！（美味しい）」と言って、喜んで食べています。

★養豚の飼料として

養豚では、豊水季の水位上昇により、天然の放牧地面積が減少し、豚に人の手で与えるべき飼料が増えます。そこで高栄養価のタロイモの増産に期待がかかります。

水田における研究栽培では、1アールあたり、三〇〇Kgの収穫も可能でした。ハダニに対して、おとり植物の役を果たす繁殖力の旺盛な浮き草が、雑草の防除や水温の安定化など、マルチン

グ効果に優れていることも確認されました。

★養殖の飼料として

魚の養殖でも、飼料の現地調達率を上げるほど収益性が高まります。特に今後、運送費が高騰することが予想され、飼料の現地生産は重要です。

パクーは、タロイモの葉もイモ（根茎）もよく食べます。これまでの調査で、現地に自生するキダチアサガオよりもパクーに好んで食べられ、またよく魚肉化することが判りました。

レダ産の養殖パクーは、その優れた肉質の評判が高まって、生産が需要に追いつかない状態です。養殖技術を普及して行く上でも、自家生産が可能な飼料として、タロイモは有望です。



タロイモの収穫作業をするチーム（第二農場）



美味しいタロイモの天ぷら



健康なタロイモの葉



新しい味、タロイモ料理に舌鼓を打つ現地の作業員たち（従業員食堂前）



皮剥き前のタロイモ



皮剥き後のタロイモ

タロイモ

サトイモ科 サトイモ属



タロイモを食べる豚たち



豚肉から本格的なソーセージを作る小橋さん



収穫したタロイモをトラックで運び出す作業（第二農場）



コンクリートミキサーで粗皮剥き

第5回パンタナール一日特別研修会開催

8月17日、川崎市の大山街道ふるさと館において、パンタナール一日特別研修会が開催され、89名の参加者が熱心に受講し、質疑応答がなされました。

第一部では韓国MBCテレビの映像を紹介した後、レダ基地の中田所長と佐野氏の報告がなされ、現場担当者の活動状況と感動をリアルに共有しました。また第二部では、飯野会長、高津講師、柴沼事務局長による濃縮された講義がなされ、青年から熟年者



まで、「希望を持った」「とても啓発された」などと感想が述べられました。

第14次国際協力青年奉仕隊が出発

8月25日、第14次青年奉仕隊が羽田空港より元気よく出発しました。パラグアイ、チャコ地方での奉仕活動、アスンシオン近郊での植樹活動などを行う予定です。帰国は9月10日になります。これまでの皆様の篤いご支援に深く感謝するとともに、引き続きご支援をお願いいたします。

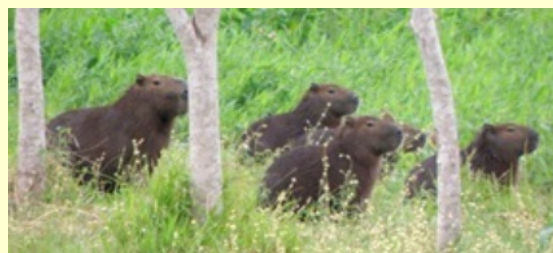


入会のご案内

一般社団法人 南北米福地開発協会

当会は1999年10月1日、任意団体のNGOとして出発し、15年にわたって南米パラグアイのパンタナールの地を中心として、植林活動、教育支援活動、養殖事業など、世界平和地球村の建設と自然環境の保護を掲げて、地道な開拓及び支援活動を続けて来ました。

2014年4月1日より、一般社団法人として正式に承認され一層の活躍が期待されます。当会のパンフレット、ホームページ、各種研修会及び催しなどを通じ、ご理解をして頂いた方に入会をお勧め致します。共に力を合わせて、社会の為、世界の為に貢献して行けたらと願います。



この数年は、日本国内でも植樹活動や環境問題講演会など各種活動を展開していますので、お問い合わせは、お気軽に事務局（電話：044-829-2821）へご連絡ください。

♥入会のお申込は、同封の用紙にご記入の上、当会事務局宛てお送りください。入会申込用紙は、電話でもお取り寄せいただけます。（下記事務局までどうぞ）また、ホームページからダウンロードすることもできます。（次のURLより）

[http:// www.asd-nsa.jp/nyuukai.pdf](http://www.asd-nsa.jp/nyuukai.pdf)

一般社団法人 南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話 044-829-2821

FAX 044-829-2820

(新) 会費納入 ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

会員種別

◆一般会員500円／月（半年3000円又は一年6000円で送金願います。）

◆正会員一口1000円／月、法人会員一口1万円／月
※口数は申込者が申告。

正会員、法人会員の会費は、毎月の引き落とし方式です。入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定、ご案内いたします。

一般会員の方は、下記の口座宛て会費をご入金ください。

ゆうちょ銀行 記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

Eメール：office@asd-nsa.jp

ホームページ：http://www.asd-nsa.jp